

発達障害・知的障害のある子の指導・支援に役立つ研修会

# 2023 春のセミナー

現場でニーズの高いテーマについて、  
実践経験の豊富な講師陣がわかりやすくお伝えします。  
対面による開催です!!

2月11日  
(土祝)

## 不適切な養育を受けた子への支援 －虐待、愛着障害、発達障害の視点から



子どもの成長・発達に大きな影響を与えると言われている「不適切な養育」。子どもに関わる支援者であれば、子どもが示す行動の背景には、虐待や愛着の問題が隠れているのでは、と考えます。このセミナーでは、虐待を受けた子どもを理解するだけにとどまらず、具体的な対応について講義。また、愛着障害と発達障害を併せ持つこともあります、その違いを整理した上で、支援者として求められることを事例と共にお話しします。

9:30～	受付	
10:15～	トラウマインフォームドケア ～逆境体験・虐待を受けた子どもへの支援	伊東 ゆたか（帝京大学病院精神科）
13:00～ 14:30	発達障害のある子と愛着障害①	三木 崇弘（社会医療法人恵風会高岡病院）
14:50～ 16:20	発達障害のある子と愛着障害②	三木 崇弘（社会医療法人恵風会高岡病院）

2月12日  
(日)

## 知能検査、認知検査を学ぶ －WISC-IVを中心に



子どもへの指導・支援において、適切な評価は欠かせません。発達障害・知的障害のある子どもへの代表的な知能検査や認知検査で何がわかるのか、検査の取り方ではなく、読み取り方についてのセミナーです。現在でも広く使用されているWISC-IVについて、検査結果を行動観察も含め、どのように解釈し、学習や生活に活かすのか、ウェクスラー式の検査を初めて学ぶ方にもわかりやすくお話しします。

9:30～	受付	
10:15～ 11:45	知能検査、認知検査とは	安住 ゆう子 (NPOフットワーク LD発達相談センターかながわ)
13:00～ 14:30	WISC-IVの結果の読み取り方	安住 ゆう子 (NPOフットワーク LD発達相談センターかながわ)
14:50～ 16:20	WISC-IVの検査結果や行動観察から導く、 学習課題と生活面の支援	安住 ゆう子 (NPOフットワーク LD発達相談センターかながわ)

**受講料** 1日 **9,900円** (税込) 正会員、賛助会員は、会員割引**8,910円** (税込)

※ 1日単位の申込です (受付9:30～、講義時間10:15～16:20)

※昼食は各自でご用意ください。

**会 場** 東京ファッションタウン (TFT) ビル 東館9階研修室

〒135-8071 東京都江東区有明3-6-11

最寄り駅：東京ビッグサイト駅 (ゆりかもめ) 徒歩1分、国際展示場駅 (りんかい線) 徒歩5分

**定 員** **120～160名** (定員になり次第締め切ります)

■お申し込みは Peatixよりお願いします

※原則としてクレジットカードによるお支払いとなります。

※公費による銀行振込等の場合は、お問合せください。

■社会状況等の変化により、中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

**お問合せ▶** 公益社団法人発達協会 〒115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL03-3903-3800  
ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp> email [mail@hattatsu.or.jp](mailto:mail@hattatsu.or.jp)

2月19日  
(日)

## 「行動の問題」への理解と対応 -応用行動分析 (ABA)を用いた指導・支援の実際



園や学校、学童クラブ、放課後等デイサービスの先生方はもちろん、子ども自身をも悩ませる「行動の問題」。このセミナーでは「行動の問題」を子どものせいにするのではなく、人と環境の相互作用の結果と考える応用行動分析 (ABA) の知見から、指導・支援の実際を学びます。現場に活かしやすいよう、種々の事例を丁寧に検討します。

9:30～	受付	
10:15～ 11:45	応用行動分析 (ABA) の基礎	渡部 匡隆 (横浜国立大学)
13:00～ 14:30	行動のコントロールへの対応－事例を中心に	渡部 匡隆 (横浜国立大学)
14:50～ 16:20	感情のコントロールへの対応－事例を中心に	渡部 匡隆 (横浜国立大学)

2月23日  
(木祝)

## 「注意機能」から考える 発達障害のある子への支援



集中が続かない、始めたことを最後までやり遂げられない子どもがいます。その背景にある特性は何なのでしょうか。学習や適応に深く関わるといわれている「脳の働き」について、高次脳機能障害の視点からわかりやすく講義。集中する、気持ちを切りかえるときなどに必要となる「注意機能」について、生活や行動、学習場面での支援について、具体的にお伝えします。

9:30～	受付	
10:15～ 11:45	高次脳機能障害の視点から考える発達障害	坂爪 一幸 (早稲田大学)
13:00～ 14:30	注意機能の働きと評価	今井 正司 (川村学園女子大学)
14:50～ 16:20	支援の実際	今井 正司 (川村学園女子大学)